

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月3日

上場会社名 豊田通商株式会社

上場取引所 東 名

コード番号 8015 URL <http://www.toyota-tsusho.com/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 清水 順三

問合せ先責任者 (役職名) 経理企画部長 (氏名) 塩崎 泰司

TEL 052-584-5482

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	3,670,966	△32.0	38,420	△61.6	47,209	△57.5	19,389	△64.3
21年3月期第3四半期	5,398,451	—	100,064	—	111,081	—	54,328	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	55.37	—
21年3月期第3四半期	154.92	154.90

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	2,167,437	634,604	26.5	1,638.97
21年3月期	2,130,089	586,996	24.9	1,515.64

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 573,693百万円 21年3月期 530,919百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	18.00	—	8.00	26.00
22年3月期	—	8.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,000,000	△20.5	51,000	△44.0	54,000	△45.1	23,000	△42.8	65.71

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他(2)をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 有

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他(3)をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	354,056,516株	21年3月期	354,056,516株
---------------------	-------------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	4,023,425株	21年3月期	3,762,239株
-----------	-------------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	350,161,508株	21年3月期第3四半期	350,682,848株
----------------------	-------------	--------------	-------------	--------------

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来の記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

(参考)平成22年3月期第3四半期(3か月)の連結業績
 (平成21年10月1日～平成21年12月31日)

連結経営成績(3か月)

(百万円未満切捨て)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	1,391,271	△7.8	18,174	△25.2	22,652	△7.1	9,743	10.3
21年3月期第3四半期	1,509,023	—	24,313	—	24,372	—	8,836	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
22年3月期第3四半期	27	83	—	—
21年3月期第3四半期	25	23	—	—

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間における世界経済は、各国の財政・金融政策により緩やかに回復しました。米国経済は回復傾向が続き、中国や東南アジアなどは成長が続きました。わが国経済も、内外の景気対策による輸出や生産の回復で持ち直し傾向がみられましたが、雇用・設備投資の調整圧力が強く、景気回復は実感の乏しいものとなりました。

このような環境のもと、豊田通商グループの当第3四半期連結会計期間の売上高は前年同四半期連結会計期間を1,178億円（7.8%）下回る1兆3,912億円となりました。

これを事業本部別に見ますと以下の通りであります。

金属本部は、鉄鋼分野では国内外の景気刺激策により、自動車メーカーの増産が継続したため、緩やかな回復が続きました。非鉄金属分野では、引き続きレアメタルを中心とした資源開発に注力しました。鉄鋼原料分野では、市況は低迷しているものの、発生屑増加により工場内リサイクル事業は回復基調となりました。しかしながら、市況の低迷等により、売上高は前年同四半期連結会計期間を480億円（10.4%）下回る4,133億円となりました。

機械・エレクトロニクス本部は、機械分野では、東北地区における営業基盤強化のため宮城県北部に出張所を設立しました。エレクトロニクス分野では、アミューズメント向け電子部品等が堅調に推移しました。自動車生産用部品分野では、部品販売が中国・北米・アジア市場向けを中心に回復基調となりました。しかしながら、自動車関連の設備投資の減少等により、売上高は前年同四半期連結会計期間を404億円（11.7%）下回る3,049億円となりました。

自動車本部は、既存販売拠点の顧客対応やサービスなどの経営・販売品質の強化・改善に努めると共に、拠点及び設備の拡充を推進しました。しかしながら、ロシア・アフリカ等資源・新興国における自動車販売の低迷が続き、売上高は前年同四半期連結会計期間を481億円（23.2%）下回る1,595億円となりました。

エネルギー・化学品本部は、化学品合成樹脂分野では、中国市場向けを中心に家電・自動車関連樹脂が堅調に推移しました。エネルギー・プラント分野では、上流から下流に至るガス一貫供給体制の構築を目指し、オーストラリアの炭層メタン（CBM）鉱区の権益を取得する契約を締結しました。売上高については、前年同四半期連結会計期間を297億円（9.9%）上回る3,287億円となりました。

食料本部は、食料関連分野におけるバリューチェーンの強化による事業拡大を目指し、第一屋製パン株式会社との資本業務提携を強化しました。しかしながら、市況の下落等の影響を受け、売上高は前年同四半期連結会計期間を191億円（20.2%）下回る750億円となりました。

生活産業・資材本部は、繊維製品分野では、実用衣料分野の更なる拡大を目指し、福助株式会社の株式を追加取得し、子会社化しました。自動車資材分野では、輸送機器用内装材の事業競争力を高めると共に、グローバル展開の強化を図るため、トヨタ紡織株式会社、株式会社川島織物セルコンと当社の3社で、「TBカワシマ株式会社」を設立しました。売上高については、前年同四半期連結会計期間を53億円（6.9%）上回る825億円となりました。

利益につきましては、営業利益は売上高の減少等により181億74百万円となり、前年同四半期連結会計期間（243億13百万円）を61億39百万円（25.2%）下回りました。経常利益は226億52百万円となり、前年同四半期連結会計期間（243億72百万円）を17億20百万円（7.1%）下回りました。一方で、税引後の四半期純利益は、特別損失の減少等により、前年同四半期連結会計期間（88億36百万円）を9億7百万円（10.3%）上回る97億43百万円となりました。

なお、平成22年3月期第1四半期及び第2四半期に係る連結経営成績に関する定性的情報については、平成22年3月期第1四半期決算短信（平成21年7月31日開示）及び第2四半期決算短信（平成21年10月30日開示）をご参照ください。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

総資産につきましては、投資有価証券の増加488億円等により、前連結会計年度末に比べ374億円増加の2兆1,674億円となりました。また、純資産につきましては、四半期純利益等により利益剰余金で130億円、その他有価証券評価差額金で199億円の増加となり、前連結会計年度末に比べ477億円増加の6,346億円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の連結業績予想につきましては、平成21年10月30日発表の連結業績予想から変更しておりません。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

【簡便な会計処理】

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
一般債権の貸倒見積高の算定方法	当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。
棚卸資産の評価方法	当第3四半期連結会計期間末における棚卸高の算出に関しては実地棚卸を省略しております。
法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法	繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用しております。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
税金費用の計算	税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。 なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
会計処理基準に関する事項の変更	重要な外貨建の資産又は負債の本邦通貨への換算の基準の変更 在外子会社等の収益及び費用については、従来、決算日の直物為替相場により円貨に換算しておりましたが、第1四半期連結会計期間より期中平均相場により円貨に換算する方法に変更しております。 この変更は、在外子会社等の重要性に鑑み、一時的な為替相場の変動による期間損益への影響を平均化し、会計期間を通じて発生する損益をより適切に連結財務諸表に反映させるために行ったものであります。 この変更により、従来の方法によった場合と比較して、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,826百万円、営業利益は72百万円、経常利益は123百万円、税金等調整前四半期純利益は111百万円それぞれ増加しております。 なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	152,957	242,537
受取手形及び売掛金	833,396	690,646
たな卸資産	365,753	426,391
その他	113,351	109,693
貸倒引当金	△4,029	△9,141
流動資産合計	1,461,429	1,460,128
固定資産		
有形固定資産	238,413	224,733
無形固定資産		
のれん	91,757	103,423
その他	17,358	15,056
無形固定資産合計	109,115	118,479
投資その他の資産		
投資有価証券	282,101	233,388
その他	101,230	113,335
貸倒引当金	△24,852	△19,975
投資その他の資産合計	358,479	326,747
固定資産合計	706,008	669,961
資産合計	2,167,437	2,130,089

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	611,847	492,678
短期借入金	233,823	331,064
未払法人税等	7,728	12,943
引当金	581	696
その他	181,985	207,706
流動負債合計	1,035,967	1,045,088
固定負債		
社債	95,000	95,000
長期借入金	349,984	350,008
引当金	21,015	20,277
その他	30,866	32,718
固定負債合計	496,865	498,004
負債合計	1,532,833	1,543,092
純資産の部		
株主資本		
資本金	64,936	64,936
資本剰余金	154,367	154,367
利益剰余金	378,197	365,130
自己株式	△7,134	△6,749
株主資本合計	590,366	577,685
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	22,015	2,147
繰延ヘッジ損益	5,783	△2,300
為替換算調整勘定	△44,471	△46,613
評価・換算差額等合計	△16,672	△46,766
新株予約権	1,225	1,089
少数株主持分	59,684	54,988
純資産合計	634,604	586,996
負債純資産合計	2,167,437	2,130,089

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	5,398,451	3,670,966
売上原価	5,114,944	3,465,358
売上総利益	283,507	205,608
販売費及び一般管理費	183,442	167,187
営業利益	100,064	38,420
営業外収益		
受取利息	3,604	2,338
受取配当金	12,321	7,832
持分法による投資利益	7,619	5,196
雑収入	7,178	9,219
営業外収益合計	30,724	24,586
営業外費用		
支払利息	13,705	10,716
雑支出	6,002	5,081
営業外費用合計	19,707	15,797
経常利益	111,081	47,209
特別利益		
固定資産売却益	1,083	711
投資有価証券及び出資金売却益	1,312	449
貸倒引当金戻入額	2,718	1
持分変動利益	—	1,229
新株予約権戻入益	—	180
その他	0	—
特別利益合計	5,114	2,572
特別損失		
固定資産処分損	1,490	618
減損損失	1,118	178
投資有価証券及び出資金売却損	59	297
投資有価証券及び出資金評価損	4,894	1,748
関係会社整理損	28	113
事業撤退損失引当金繰入額	471	85
その他	110	13
特別損失合計	8,173	3,055
税金等調整前四半期純利益	108,021	46,726
法人税等	45,733	22,112
少数株主利益	7,959	5,224
四半期純利益	54,328	19,389

(第3四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)
売上高	1,509,023	1,391,271
売上原価	1,425,768	1,317,499
売上総利益	83,255	73,772
販売費及び一般管理費	58,942	55,598
営業利益	24,313	18,174
営業外収益		
受取利息	1,048	764
受取配当金	2,950	963
持分法による投資利益	1,129	2,676
雑収入	1,616	4,798
営業外収益合計	6,745	9,202
営業外費用		
支払利息	4,535	3,543
雑支出	2,150	1,180
営業外費用合計	6,685	4,724
経常利益	24,372	22,652
特別利益		
固定資産売却益	264	560
投資有価証券及び出資金売却益	1,098	331
貸倒引当金戻入額	326	101
新株予約権戻入益	—	101
その他	0	—
特別利益合計	1,689	1,096
特別損失		
固定資産処分損	323	210
減損損失	522	147
投資有価証券及び出資金売却損	51	20
投資有価証券及び出資金評価損	3,753	1,452
その他	48	11
特別損失合計	4,700	1,842
税金等調整前四半期純利益	21,361	21,906
法人税等	10,630	9,691
少数株主利益	1,894	2,471
四半期純利益	8,836	9,743

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間（自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日）

	金属 (百万円)	機械・エ レクトロ ニクス (百万円)	自動車 (百万円)	エネルギ ー・化学 品 (百万円)	食料 (百万円)	生活産 業・資材 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高										
(1) 外部顧客に対する 売上高	461,377	345,350	207,603	299,073	94,101	77,228	24,290	1,509,023	—	1,509,023
(2) セグメント間の 内部売上高	103	2,263	29	456	36	390	1,741	5,021	(5,021)	—
計	461,480	347,613	207,632	299,529	94,138	77,618	26,031	1,514,045	(5,021)	1,509,023
営業利益又は損失(△)	1,905	5,223	11,401	3,659	1,092	1,250	△219	24,313	—	24,313

当第3四半期連結会計期間（自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日）

	金属 (百万円)	機械・エ レクトロ ニクス (百万円)	自動車 (百万円)	エネルギ ー・化学 品 (百万円)	食料 (百万円)	生活産 業・資材 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高										
(1) 外部顧客に対する 売上高	413,397	304,936	159,520	328,795	75,068	82,541	27,012	1,391,271	—	1,391,271
(2) セグメント間の 内部売上高	132	1,423	11	385	30	164	2,278	4,426	(4,426)	—
計	413,530	306,360	159,531	329,180	75,098	82,705	29,290	1,395,697	(4,426)	1,391,271
営業利益又は損失(△)	8,205	3,148	4,536	877	936	△253	723	18,173	0	18,174

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	金属 (百万円)	機械・エ レクトロ ニクス (百万円)	自動車 (百万円)	エネルギ ー・化学 品 (百万円)	食料 (百万円)	生活産 業・資材 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高										
(1) 外部顧客に対する 売上高	1,697,629	1,133,119	711,868	1,220,725	293,436	249,980	91,691	5,398,451	—	5,398,451
(2) セグメント間の 内部売上高	326	6,963	38	1,587	99	1,473	3,101	13,589	(13,589)	—
計	1,697,956	1,140,083	711,907	1,222,313	293,535	251,453	94,793	5,412,041	(13,589)	5,398,451
営業利益	24,737	20,293	35,305	10,128	4,660	4,529	418	100,074	(9)	100,064

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	金属 (百万円)	機械・エ レクトロ ニクス (百万円)	自動車 (百万円)	エネルギ ー・化学 品 (百万円)	食料 (百万円)	生活産 業・資材 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高										
(1) 外部顧客に対する 売上高	1,093,409	821,353	429,355	814,256	232,788	211,215	68,586	3,670,966	—	3,670,966
(2) セグメント間の 内部売上高	346	6,657	15	1,090	85	2,102	5,995	16,293	(16,293)	—
計	1,093,756	828,011	429,370	815,347	232,873	213,318	74,582	3,687,259	(16,293)	3,670,966
営業利益	13,553	5,920	12,085	1,128	3,840	1,224	666	38,418	1	38,420

(注) 1. 事業区分の方法：事業区分は、商品の種類・性質により区分しております。

2. 「4.その他(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更」に記載のとおり、在外子会社等の収益及び費用については、従来、決算日の直物為替相場により円貨に換算しておりましたが、第1四半期連結会計期間より期中平均相場により円貨に換算する方法に変更しております。この変更により、従来の方法によった場合と比較して、当第3四半期連結累計期間の売上高は金属事業で973百万円、機械・エレクトロニクス事業で775百万円、自動車事業で109百万円、エネルギー・化学品事業で943百万円、食料事業で655百万円、生活産業・資材事業で221百万円、その他事業で147百万円のそれぞれ増加となっております。また、営業利益は金属事業で5百万円、機械・エレクトロニクス事業で14百万円、自動車事業で27百万円、エネルギー・化学品事業で4百万円、食料事業で15百万円、生活産業・資材事業で11百万円のそれぞれ増加、その他事業で7百万円の減少となっております。

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間（自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日）

	日本 (百万円)	アジア・オ セアニア (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	その他の地 域(百万円)	計 (百万円)	消去又は全 社(百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に対する 売上高	1,013,367	249,312	98,880	101,975	45,488	1,509,023	—	1,509,023
(2) セグメント間の 内部売上高	146,195	26,885	28,040	1,737	1,136	203,995	(203,995)	—
計	1,159,562	276,198	126,921	103,712	46,625	1,713,019	(203,995)	1,509,023
営業利益又は損失(△)	6,102	9,794	△66	3,434	5,055	24,320	(7)	24,313

当第3四半期連結会計期間（自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日）

	日本 (百万円)	アジア・オ セアニア (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	その他の地 域(百万円)	計 (百万円)	消去又は全 社(百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に対する 売上高	902,400	290,017	97,193	64,161	37,498	1,391,271	—	1,391,271
(2) セグメント間の 内部売上高	134,937	15,877	20,626	2,187	626	174,255	(174,255)	—
計	1,037,338	305,895	117,819	66,348	38,124	1,565,527	(174,255)	1,391,271
営業利益	4,318	6,992	3,173	1,167	2,218	17,870	304	18,174

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日至平成20年12月31日）

	日本 (百万円)	アジア・オセアニア (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	その他の地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	3,576,034	945,175	391,408	339,384	146,448	5,398,451	—	5,398,451
(2) セグメント間の内部売上高	482,803	100,487	105,815	9,091	3,604	701,802	(701,802)	—
計	4,058,838	1,045,662	497,223	348,476	150,053	6,100,254	(701,802)	5,398,451
営業利益	32,101	30,732	8,630	11,845	16,249	99,559	504	100,064

当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日至平成21年12月31日）

	日本 (百万円)	アジア・オセアニア (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	その他の地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	2,377,235	736,984	253,533	200,568	102,645	3,670,966	—	3,670,966
(2) セグメント間の内部売上高	335,229	39,065	71,525	4,523	1,596	451,939	(451,939)	—
計	2,712,464	776,049	325,058	205,091	104,242	4,122,905	(451,939)	3,670,966
営業利益	6,285	16,111	5,713	3,364	7,237	38,712	(291)	38,420

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

- (1) アジア・オセアニア：中国・台湾・シンガポール・タイ
- (2) 北米：米国
- (3) 欧州：英国・ベルギー・ロシア
- (4) その他の地域：アフリカ・中南米

3. 「4.その他(3)四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更」に記載のとおり、在外子会社等の収益及び費用については、従来、決算日の直物為替相場により円貨に換算しておりましたが、第1四半期連結会計期間より期中平均相場により円貨に換算する方法に変更しております。この変更により、従来の方法によった場合と比較して、当第3四半期連結累計期間の売上高は「アジア・オセアニア」で2,307百万円、「北米」で2,066百万円、「欧州」で278百万円のそれぞれ増加、「その他の地域」で825百万円の減少となっております。また、営業利益は「アジア・オセアニア」で65百万円の増加、「北米」で17百万円の減少、「欧州」で62百万円の増加、「その他の地域」で37百万円の減少となっております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間において、5,606百万円の剰余金の配当を行っております。

2010年3月期第3四半期連結決算概要

2010年2月3日

豊田通商株式会社

(単位:億円)

(参考)

四半期推移	1Q	2Q	3Q
売上高	10,551	12,245	13,912
営業利益	74	126	181
経常利益	94	150	226
四半期純利益	26	69	97

連結経営成績	第3四半期 累計期間	前年同期	前年同期比	
			増減額	増減率(%)
売上高	36,709	53,984	▲17,275	▲32%
売上総利益	2,056	2,835	▲779	▲27%
販売費及び一般管理費	1,671	1,834	▲163	—
営業利益	384	1,000	▲616	▲62%
利息収支	▲83	▲101	18	—
受取配当金	78	123	▲45	—
持分法による投資損益	51	76	▲25	—
その他	41	11	30	—
経常利益	472	1,110	▲638	▲58%
特別損益	▲4	▲30	26	—
税金等調整前 四半期純利益	467	1,080	▲613	▲57%
法人税等	221	457	▲236	—
少数株主利益	52	79	▲27	—
四半期純利益	193	543	▲350	▲64%

主な増減要因
<p>【売上高】▲17,275億円 市況の下落及び自動車生産台数減少に伴い、金属、エネルギー・化学品本部を中心に取扱い減少</p> <p>【売上総利益】▲779億円 売上高減少に伴い、金属、機械・エレクトロニクス、自動車本部を中心に減少</p> <p>【販売費及び一般管理費】▲163億円 全社的なコスト削減により負担減少</p> <p>【利息収支】+18億円 国内外の金利低下による改善</p> <p>【受取配当金】▲45億円 単体及び海外子会社の受取配当金減少</p> <p>【持分法による投資利益】▲25億円 エネルギー・化学品本部の持分法適用会社を中心に減少</p> <p>【その他営業外損益】+30億円 主に為替差損益の良化</p>

※2010年3月期より、在外子会社の外貨換算に期中平均レートを採用しております。

商品本部別 連結売上高・営業利益	第3四半期 累計期間	前年同期	前年同期比 増減額	為替 影響額	為替影響除く	
					増減額	増減率(%)
金 属	10,934	16,976	▲6,042	▲369	▲5,673	▲34%
機 械	135	247	▲112	▲16	▲96	▲41%
機 械・エレクトロニクス	8,213	11,331	▲3,118	▲415	▲2,703	▲25%
自 動 車	59	202	▲143	▲10	▲133	▲69%
自 動 車	4,293	7,118	▲2,825	▲382	▲2,443	▲36%
自 動 車	120	353	▲233	▲17	▲216	▲64%
エ ン エ ル ギ ー・化 学 品	8,142	12,207	▲4,065	▲298	▲3,767	▲32%
エ ン エ ル ギ ー・化 学 品	11	101	▲90	4	▲94	▲89%
食 料	2,327	2,934	▲607	▲95	▲512	▲18%
食 料	38	46	▲8	▲4	▲4	▲10%
生 活 産 業・資 材	2,112	2,499	▲387	▲51	▲336	▲14%
生 活 産 業・資 材	12	45	▲33	▲1	▲32	▲72%
そ の 他	685	916	▲231	▲90	▲141	▲17%
そ の 他	6	4	2	▲1	3	104%
合 計	36,709	53,984	▲17,275	▲1,700	▲15,575	▲30%
合 計	384	1,000	▲616	▲45	▲571	▲60%

※上段:売上高、下段:営業利益

主な増減要因
<p>【売上高】 市況下落及び自動車生産台数の減少による。</p> <p>【営業利益】 主に国内及び米国において減少。</p>
<p>【売上高】 機械設備、エレクトロニクス部品取扱い及び海外自動車生産台数減少による。</p> <p>【営業利益】 主に国内において減少。</p>
<p>【売上高】 輸取出扱台数減少による。</p> <p>【営業利益】 輸取出扱台数及び海外自動車販売台数の減少による。</p>
<p>【売上高】 原油等の市況下落による。</p> <p>【営業利益】 主に豪州石炭PJの利益及び原油等の取扱い減少による。</p>
<p>【売上高】 飼料等市況の下落による。</p> <p>【営業利益】 主に国内及び南米において減少。</p>
<p>【売上高】 生活資材、内装資材及び繊維関連の取扱い減少による。</p> <p>【営業利益】 主に不動産低価格の影響により減少。</p>

連結財政状態	第3四半期末	前期末	前期末比	
			増減額	増減率(%)
総資産	21,674	21,300	374	2%
(流動資産)	14,614	14,601	13	0%
(投資有価証券)	2,821	2,333	488	21%
(その他の固定資産)	4,239	4,365	▲126	▲3%
純資産	6,346	5,869	477	8%
有利子負債(NET)	5,746	5,739	7	0%
D E R (NET)	1.0	1.1	▲0.1	

主な増減要因
<p>【投資有価証券】+488億円 取得及び時価上昇による増加</p> <p>【純資産】+477億円 ・利益剰余金+130億円 (四半期純利益+193億円、配当金▲56億円等) ・有価証券評価差額金+199億円 ・繰延ヘッジ損益+80億円 ・少数株主持分+47億円</p>

連結業績予想	当期予想	前期実績	前期比	
			増減額	増減率(%)
売上高	50,000	62,869	▲12,869	▲20%
営業利益	510	910	▲400	▲44%
経常利益	540	983	▲443	▲45%
当期純利益	230	402	▲172	▲43%

主要指標推移	第3四半期 累計期間	前年同期	2010年 3月期(予想)
			平均 期末
為替(円/米ドル)	93.53	100.28	93.00
金利	92.10	—	90.00
円TIBOR3M平均	0.55%	0.85%	0.70%
米ドルLIBOR3M平均	0.50%	2.81%	0.70%
熱延鋼板(円/トン)	87,000	101,000	86,000
トハイ原油(米ドル/bbl)	67	95	65
豪州一般炭(米ドル/トン)	72	132	69
シカゴコーン(セント/Bushel)	373	530	360